

# 共同研究集会 「極値理論の工学への応用」

日程：2018年7月20日（金）12:30～17:00, 7月21日（土）9:30～16:30

場所：統計数理研究所 3F セミナー室5（〒190-8562 東京都立川市緑町10-3）

7月20日（金）

- 12:30 開会挨拶 研究代表者 北野 利一
- 12:40-13:15 清水 啓太（中央大学大学院）  
確率限界法検定に基づく水文頻度解析
- 13:15-13:50 尾関 暁史（日本イーライリリー）  
Rank Method and Extreme Value
- 13:50-14:00 休憩
- 14:00-15:00 松王 政浩（北海道大学 大学院理学研究院）  
（招待講演） 極めて低い確率をどう考えるか～科学哲学からの視点
- 15:00-15:20 休憩 ★注
- 15:20-15:55 北野 慈和（電力中央研究所）  
風荷重算定のための季節・成因・風向別年最大風速の極値統計とその課題
- 15:55-16:30 高橋 倫也（神戸大学 名誉教授）  
自然現象の再現レベル推定
- 16:30-16:50 北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）  
（話題提供）0.01のパラドックス
- 16:50-17:00 事務連絡 志村 隆彰・北野 利一
- 18:00- 懇親会 （イルマーレ 立川店：立川市 柴崎町 3-1-7 立川南口第2ビル 5F/tel.050-5594-5836）

7月21日（土）

- 9:30-10:05 小林 健一郎（神戸大学 都市安全研究センター）  
d4PDFを用いたガーナにおける天候インデックス保険の検討
- 10:05-10:40 田中 茂信（京都大学防災研究所 水資源環境研究センター）  
降水量極値の時空間特性の将来変化
- 10:40-10:50 休憩
- 10:55-11:30 栗木 哲（統計数理研究所）  
2つのガウス確率過程の最大値の同時裾確率
- 11:30-11:55 宮原 孝夫（名古屋市立大学 名誉教授、経済学研究科 特任教授）  
リスク鋭感的価値尺度とその活用法
- 11:55-13:00 昼食休憩
- 13:00-13:35 譲原 浩貴（東京大学 宇宙線研究所）  
重力波探索における一般極値分布の適用
- 13:35-14:10 佐藤 彰洋（京都大学 大学院情報学研究科）  
Inference of Extreme Synchrony with an Entropy Measure on a Bipartite Network
- 14:10-14:45 西郷 達彦（山梨大学 大学院総合研究部）  
和の理論と最大値の理論ごとの変換について
- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-15:35 田中 耕司（大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科）  
平成23年9月台風12号の温暖化実験値における熊野川流域内の降雨分布特性
- 15:35-16:10 北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）  
相関係数を用いた2変量一般化パレート分布（BGPD）の閾値選択
- 16:10-16:30 研究会打ち合せ（次年度の企画案など）・事務連絡 進行：北野 利一・志村 隆彰

★注：2日目の昼食の仕出し弁当の予約を前日の休憩に確認します。弁当ならびに懇親会費は実費を徴収します。

また、名札は各日、開始時にお渡しして、退室時に返却をおねがいします。